

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社エニシス			
所在地	東京都中央区東日本橋 2 丁目 9 番 4 号フェアモントタワーズ EAST5 階			
業種	(K) 不動産業, 物品賃貸業			
常用労働者数	2 人			
事業内容	不動産売買業			
ホームページ	https://enisys-realestate.jp/			
1 ニーズ調査				
① 実施日	令和 7 年 12 月 29 日			
②方法	アンケート用紙全従業員に手渡し配布			
② 回収率	対象者（都内勤務全従業員）2 名のうち回収数 2 名 回収率 100%（回収数／対象者）			
④調査結果 概要	（調査により明らかになった課題） ・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 現時点で介護を行っている従業員はいない。 ・今後の従業員の介護見込みについて 現在、具体的な介護予定はない。 将来的に家族の高齢化等により、介護が発生する可能性は否定できない。 ・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する制度の存在は一定程度認識されている。制度の具体的内容や利用方法についての理解は十分とは言えない。 ・介護と仕事の両立に関する不安について 現時点で強い不安を感じている従業員はいない。営業職の特性上、介護が発生した場合の業務継続や顧客対応への影響を懸念する声がある ・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護が発生しても、可能な限り仕事を継続したい意向がある。 （課題） 勤務時間や業務量の調整など、柔軟な働き方への関心が見られる 従業員数が 2 名と少なく、1 名でも介護が発生した場合の業務への影響が大きい。介護制度の内容や利用方法が十分に理解されておらず、必要時に活用しづらい 介護が発生した場合の対応ルールや相談体制が明確になっていない 営業職特有の業務特性により、介護と仕事の両立に対する不安が潜在化しやすい。 将来的な介護リスクに備えた事前の制度周知・体制整備が十分に進んでいない □突発的な介護発生時の相談ルート・会社対応が明確でない □業務の属人性が高く、休業・時短が現場に与える影響が大きい □周囲への遠慮・評価への不安から、制度を使いにくい心理的ハードルがある □長期介護を想定した段階的な働き方の選択肢が不足 □制度整備だけでなく、業務分担・配置・風土の見直しが不可欠			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
① 設置日	令和 7 年 12 月 1 日			
②メンバー	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 1 名） （メンバー内訳）代表取締役、総務担当			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	12 月 1 日	11：00-11：10	活動内容及びスケジュールの確認	2 名
	1 月 13 日	15：00-15：20	調査結果概要説明、取組案の提示	2 名

	1 月 30 日	11 : 00-11 : 20	取組案についての意見交換、確定	2 名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和 8 年 5 月～定期的な個人面談の実施（年 1 回程度）				
令和 8 年 6 月～介護と仕事の両立に関する研修の実施（年 1 回程度）				
4 経営者・管理職への体験型研修の実施				
有り・無し（いずれかに○）				